



Polaris news

【北高新聞 NO.202420】

「外務省 ODA出前講座」 (2025.2.13)

外務省国際協力局政策課より中野涉さんにお越しいただき、ODA出前講座をしていただきました。自己紹介の後、まず外務省とODAについてお話してくださりました。その後、グループに分かれ、日本の円借款事業として仮想国Aの新港の建設に協力した場合、A国、日本、世界にどのようなメリットがあるかを話し合いました。1、2年生合同グループで、様々な視点から考え、意見をまとめて発表することができました。このグループワークによって、ODAについての理解も深まりました。最後の質疑応答では、たくさんの質問に一つひとつ丁寧に答えてくださり、そこから学びが深まっただけでなく、新たな学びも多くあり、大変有意義な時間となりました。また、中野さんは講演後も1時間ほど残ってくださり、興味がある生徒たちは更にお話を聞くことができ、貴重な経験となりました。



■生徒の感想より■

- 普段は聞けない内容で興味深かったし、日本の海外との関わり方や仕組みを具体的に知ることができて、より日本への理解が深まった。
- 自分の中で興味が高まっていた海外での仕事（日本と海外を結ぶ仕事）について話が聞けて良かった。外務省の仕事について興味がわき、自分でも調べてみたくなった。
- 滅多に会うことのないような方の話を聞けて、見聞が広まった。新しい視点を持つことができ、ニュースを見る目も変わりそう。
- ODAは授業で単語を聞いたことがある程度だったけど、何のためにあるのかや、日本がどのような取り組みをしているのかなどを知ることができて、見方が変わった。
- 自分の知らないことがたくさんあって、話を聞いていておもしろかった。開発途上国を支援するにも様々な方法があって、国ごとに支援方法が全く違うこともあることを知り、興味がわいた。
- 日本が海外の支援をすることで、支援先にもたらされるメリット、日本にもたらされるメリット、また世界にはどのような影響があるのか様々な視点で学ぶことができた。